

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得価額によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法により実施している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（市債）	199,800,000	0	0	199,800,000
普通預金	200,000	0	0	200,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
減価償却引当資産	421,375	84	421,459	0
小 計	421,375	84	421,459	0
合 計	200,421,375	84	421,459	200,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財産か らの充当額）	（うち負債に対応 する額）
基本財産				
定期預金	0	(0)	(0)	
投資有価証券（市債）	199,800,000	(0)	(199,800,000)	-
普通預金	200,000	(0)	(200,000)	
小 計	200,000,000	(0)	(200,000,000)	-
特定資産				
減価償却引当資産	0	(0)	(0)	(0)
小 計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	200,000,000	(0)	(200,000,000)	(0)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期 未残高	債権の当期末残高
未収金	38,206	0	38,206
合 計	38,206	0	38,206

6. 保証債務等の偶発債務

特にございませぬ。

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第4回公募公債	199,800,000	213,760,000	13,960,000

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替はしておりませぬ。

9. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございませぬ。

10. 重要な後発事象

特にございませぬ。